

野洲市資料提供

提 供 年 月 日	令和8年5月26日
担 当 部 課	都市建設部 MIZBEステーション整備室
担 当 者	羽田、阪本、川端
連絡先電話番号	077-516-4630

野洲川MIZBEステーション設計施工業務に係る公募型プロポーザルの中止に伴う今後の対応方針について

標記の件につきまして、令和8年2月3日付けにて公告し、設計施工を担当する事業者の選定に向けて事務を進めてきましたが、参加表明された全ての事業者が辞退したことに伴い、手続きを中止しました。（4月14日に速報済み）

つきましては、事業者が辞退に至った要因や今後の対応方針を報告します。

1. これまでの経緯

- | | |
|-----------|--|
| 令和8年2月3日 | 事業者の技術力・提案力を踏まえて選定する公募型プロポーザル実施の公告 |
| 令和8年3月5日 | 参加表明書の受付締切
・3月5日までに3グループから参加表明 |
| 令和8年3月9日 | 参加資格確認の通知
・3グループが参加資格を有することを確認 |
| 令和8年4月13日 | 審査書類（企画提案書）の提出締切
・4月13日までに3グループから辞退届の提出
・参加者不在となったためプロポーザル手続きの中止 |

2. 公募型プロポーザル中止に至った主な要因

事業者へのヒアリングの結果、当該事業についての関心は高かったものの、各グループの工事費の見積金額と、本市の提案上限価格に乖離があったことが主な要因と考えられます。

特に、設計施工一括方式では、事業者が設計・施工の双方の責任を負うため、昨今の資材価格や労務費の価格上昇局面ではリスクを見込みやすく、結果として参入しにくい状況となりました。加えて、MIZBEステーション整備工事は、約1年後の令和9年度を予定しており、拍車をかけることとなったものと考えます。

3. 今後の対応方針（案）

設計業務と施工業務を分離して発注する方向で、設計のみの公募型プロポーザル方式を進めます。

- ① 基本条件・整備内容の再点検
 - ・実施要領・要求水準書の再構築
- ② 設計業務の先行発注
 - ・詳細な提案に基づき設計内容を確定することにより、現時点の市場単価を反映した適正な工事費を積算
- ③ 施工業務の分離発注
 - ・施工条件を明確化した工事仕様で事業者が参加しやすい発注方式
- ④ 事業費の精査
 - ・最新の資材価格・労務単価を反映
 - ・設計内容に応じて予算措置の見直しを検討

4. 分離発注のメリット・デメリット

メリット

再度不調になるリスクの軽減

- ・仕様や数量が明確な状態で発注できます。
- ・市場価格を踏まえた発注条件の設定が可能となります。
- ・設計・施工間の調整がなくなり、設計内容に関するリスクも負わないため工事事業者が参入しやすくなります。

デメリット

- ・分離発注により手続きが増え、事業期間が当初想定より伸びる可能性があります。

⇒事業を着実に進めるため、設計と施工を分離して進めます。

5. スケジュール（案）

ハード整備	令和8年度	令和9年度	令和10年度
設計	公募 設計		野洲川MIZBE ステーション オープン
施工		入札 施工	